

# 東京お茶の水ロータリークラブ



2023-24年度 RI 会長 ゴードン R. マッキナリー  
**世界に希望を生み出そう**  
 第 2580 地区ガバナー 栃木 一夫  
 ロータリアンの心に火をつけよう

魅力あるクラブにするために  
 行動しよう

2023-24年度 クラブ会長 牛島 聡

## 本日の卓話

## クラブフォーラム

## クラブ戦略と戦略委員会について

司会進行  
 点鐘  
 君が代・奉仕の理想  
 ゲスト・ビジター報告  
 ニコニコボックス報告  
 会長報告  
 幹事報告  
 出席報告

和田 夏彦会員  
 牛島 聡会長  
 神保 宏充会員  
 角田 靖会員  
 和田 夏彦会員  
 牛島 聡会長  
 藤本 豊大幹事  
 和田 夏彦会員

の水も次年度の会長幹事みなさま、これから準備の方をしっかりとやっていただきたいと思います。

また、次々年度ガバナーノミニーから、地区の編成替えを行い「分区」という名前がなくなります。ノミニーご自身のときは「分区」を設定せず、グループ別に地域色を強くして「千代田」「新宿」「中野」等、地域としての活動をするときにわかりやすくする、という趣旨であると聞いております。分区は、廃止ではなく自分のときには設営しない、その先に復活することもあるというニュアンスを残す意味で完全廃止という言葉を使っていません。地区分けも、ガバナーノミニーが熟考して決めたということで、それを尊重しそれに沿ってこれから活動していくと思います。どんな形になろうと、最終的にはロータリーは各クラブがきちんち活動して活性化していくということが大事だと思っております。まだ残り3ヶ月ありますが、できることをやっていきたいと思っております。

先日は神田観桜会に5名の方がご参加いただきありがとうございました。昨年お茶の水は周年を迎え、神田はこれから周年があります。今後お茶の水が、ますますいいクラブになっていくことを願っておりますし神田のメンバーとしても、お茶の水と一緒に、この神田の中でいいロータリー活動ができれば一番いいと思っております。ガバナー補佐の任期が終わっても時々メーキャップに来ますのでどうぞよろしくお願い致します。

### 会長報告 牛島 聡会長

・岡田 邦男会員に米山奨学生カウンセラーの委嘱状が届いておりますのでお渡しします。



### 幹事報告 藤本 豊大幹事

・4月度新旧合同理事役員会を開催いたしました。  
 ・次週10日はオンライン例会です。お間違えのないようお願いします。  
 ・親子はねやすめへのご協力、ありがとうございました。

### 出席報告

会員数	38名	ゲスト	2名
出席	24名	ビジター	6名
ZOOM	0名	合計	32名

### ゲスト・ビジター

ゲストスピーカー  
 ゲストスピーカー同行者  
 中央分区ガバナー補佐・東京神田 RC  
 中央分区幹事・東京神田 RC  
 東京 RC・前社会奉仕委員会委員長  
 東京 RC・社会奉仕委員会委員長  
 東京 RC・次期社会奉仕委員会委員長  
 東京 RC・社会奉仕委員会委員

長田 淳子様  
 上鹿 渡和宏様  
 岩崎 俊治様  
 内藤 勝弘様  
 川口 順子様  
 後藤 尚右様  
 八木 昌実様  
 田邊 昌徳様

### ニコニコボックス

ガバナー補佐・岩崎様、分区幹事・内藤様  
 本日3回目のガバナー補佐訪問をさせていただきます。2023-24年度、最後の訪問です。1年間、ありがとうございました。  
 牛島会長 長田様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。  
 土居会員 観桜会、花は無けれどいと楽し！お世話様でした。  
 大原会員 長田様卓話楽しみにしています。  
 岡田会員 長田様、卓話楽しみにしています。  
 高山会員 長田様、川口様を始め東京ロータリーの皆様ようこそおいで頂きました。  
 計 24,000 円 累計 513,500 円

### 挨拶 ガバナー補佐・東京神田 RC 岩崎 俊治様

ガバナー補佐訪問3回目です。昨年の5月6月頃にもガバナー補佐公式訪問をしておりますので、それを入れると4回ということになります。



2月の地区大会では多くの登録とご参加ありがとうございました。地区もクラブも残りの事業も少なくなってきました。地区の活動も、4月のポリオ根絶チャリティーゴルフの開催と、5月終わりのシンガポール世界大会のガバナーナイト開催で、大体地区の活動は終わるのではないかと思います。実際次年度がどンドン動いておりますので、お茶

# 社会で子育てをする里親制度

## 社会福祉法人二葉保育園

### 二葉乳児院 副院長 長田 淳子様

#### 卓話者紹介

#### 東京ロータリークラブ 川口 順子様

長田さんは、子供の虐待について長い実務的な経験をお持ちです。二葉乳児院の副院長で、20年くらいそこにいらっしゃいます。また滋賀県の中央児童相談所や、東京都の里親支援事業に関わったりなど、他にもいろいろなことをやっています。またこの問題について修士号をお持ちで、本日の早稲田教授の上鹿渡先生の研究所で研究を行っています。また自ら子供の里親でもあり、6才の男の子を育てている実践家でもあります。

東京RCの社会奉仕委員会は、2年前の社会奉仕月間のときに上鹿渡先生に卓話をお願いしました。上鹿渡先生も児童精神科の医師でいらっしゃいます。早稲田でアカデミックな研究をしていますし、豊富な実務経験をお持ちです。上鹿渡先生に御指導いただきながら、子供の虐待の問題に東京RCとして何が出来るだろうかという観点で2年ほど勉強会を続けてきております。長田さんはそのメンバーとしても参加をしてくださっています。



#### 長田様の卓話

ご存じでしょうか。わかっているだけでも5日1人、虐待によって子どもが亡くなっています。

2021年には74人の子どもが亡くなりました。少子化と言われる日本にもかかわらず、この10年で、児童相談所への虐待通告は3倍にもなっています。2022年度に全国の児童相談所への虐待についての相談は、21万9170件（速報値）で、過去最多となりました。この数字は32年連続で増加しています。

虐待等受けた子どもや、家族の病気や死亡、貧困などで親と一緒に暮らすことのできない子どもたちは、全国で約42000人。都内では、約4000人に上ります。また、親からの虐待等様々な事情により、子どもの一時的な保護が必要な件数は、年間13000件（2020年）になり、常に5万人近い子どもたちが公的な保護のもとで生活しています。

脳画像等研究により虐待や体罰、暴言は子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼすことがわかってきています。子どもにとって、子ども時代をどれだけ安心安全に暮らすことができるかは、大人になってからも影響し続けます。その影響を少しでも軽減させるためにも、安心、安全な人と場所を周囲の大人たち創り出し、子どもとその家族を支えることです。

しかし、日本は、諸外国から見ても、施設での養育の割合が高く、里親家庭で生活している子どもはわずか2割ほどしかいません。例えば、全ての保護児童のうち、里親家庭やファミリーホーム（6名程度までを受け入れる家庭）で生活している子どもの割合は、全国平均で23.5%。東京都では16.8%（2022）となっており日本の平均以下の状態です。しかしながら、カナダは、85.9%。アメリカ81.6%。イギリスは73.2%となっており、大きな差があることから、世界からも対応

を求められています。また、国内でも、地域差が大きく生じています。

施設などで保護されている子どものなかには、一度も家族と一緒に暮らす経験を持っていない子どもたちもいます。家族や家庭のイメージを持たない子どもたちが、安心安全基地となる家族をつくっていくこと、自立し暮らしていくことはとても困難で難しいチャレンジとなります。不安が強くなり、学校が続かないことも、仕事を辞めてしまうこともあります。愛する人と暮らすことさえも不安になってしまう子どももいます。

打開するための一つの選択肢として、「里親制度」があります。里親制度には、養子縁組を目的とせず、一定期間子どもを養育する「養育家庭（養育里親）」があります。実の家族と一緒に暮らすことが難しい場合には、次に、法的にもパーマネンシー保障となる

「特別養子縁組」として家族となってくれる家庭を探すこととなります。しかし、多くの場合は、実親の存在もあり、一定交流をもって家族再統合や家庭復帰に向けて取り組むケースもあることから、「里親制度」のなかでも、「養育家庭（養育里親）」が求められています。

「養育家庭」は、都道府県から認められた公的に子どもの養育をする家庭のことです。国から、里親手当や生活費など月約15万円支給されます。年齢制限はなく、健康で子どもの養育が可能な方が対象となります。里親になるためには、居住地の児童相談所で手続きを行い、研修や施設実習などを経て里親登録することが必要となります。里親家庭を必要とする子どもによって預かる期間は、数日から数年、18歳の高校等卒業のタイミングなど様々です。また、里親として子どもを預かることが難しいという方には、施設で生活している子どもに対して、週末や長期休みなど交流をもってくださる「フレンドホーム」「週末里親」などもあります。短期間であっても、子どもにとってはかけがえのないもうひとつの安心安全基地になります。

里親に関して、登録までどのような手続きがあるのか、自分自身が里親になれるのか、どのような支援があるのかなどご不明な点がある場合は、里親さんの体験談、オンラインの説明会などもあります。

また、里親になる人を応援してください。企業内従業員さんが里親になる場合の有給休暇取得やボランティア休暇の取得を後押ししていただきたいと思っております。また、里親希望者に対する相談会会場の貸与、里親イベントの会場提供など皆さんの応援が必要です。

そして、まだまだ認知度が低いことも、この里親制度が普及しない大きな課題の一つです。そのために、知ってもらうための啓発活動にご協力をいただきたいと思います。それぞれの企業や個人の強みやノウハウを是非、この制度応援に活かしていただけたいと思います。

- いますぐ取り組めるいくつかのご提案があります。
- まずは制度をいろいろ知りたい！  
→ [Tokyo里親ナビ | 子ども里親の暮らしを知るサイト \(tokyo-satooyanavi.com\)](http://Tokyo里親ナビ | 子ども里親の暮らしを知るサイト (tokyo-satooyanavi.com))
- どこに連絡する？  
→ 皆様の地域の里親支援チームは、東京都・特別区および二葉・子ども里親サポートステーションです。
- 何が出来るか相談したい！  
→ 地域の里親支援チームにつなぎます。  
二葉・子どもと里親サポートステーション **03-3351-3108**  
→ お問い合わせ・ご相談フォームはこちらから！



最後に、子どもの応援団になってください。一人でも多くの子どもの支えになってください。自立をするために、職業体験や自立訓練の場所の提供をしてください。様々な応援の形は、どんなことも子どもたちの記憶に残り、そのメッセージはこれからずっと支えの一つとなります。

是非、ご連絡ください。何ができるか一緒に考えさせてください。そして、子どもの応援団になってください。



の公園で、東京神田 RC の松本さんが町会長でいらっしやるので、先日ご参加頂くようお願いしております。牛島会長の了解のもと、東京神田 RC の皆様にもお誘いの文書の方をお送りいただければと思います。せいが保育園の皆様もお越しいたします。役所にも花の発注をして準備は整えておりますので、皆さんご参加の方よろしくお願いたします。

## イニシエーションスピーチ 大原 正道会員

第 1363 回 2024 年 4 月 10 日 (水)

### オンライン例会

司会進行	和田 夏彦会員
点鐘	牛島 聡会長
奉仕の理想	
会長報告	牛島 聡会長
幹事報告	藤本 豊大幹事
副幹事報告	中野 広行副幹事

#### 会長報告 牛島 聡会長

2024 年 4 月に発生した台湾東部地震について、地区にて義援金の方法を検討しておりました。一部の台湾の方から直接的な寄付は受け取らないというような意思も一時あったようです。しかし台湾の方たちには、能登半島地震のときも多額の義援金をいただいているということもあります。姉妹クラブ、友好クラブがあるクラブは直接やり取りをして意思を伝えていいということですが、そういった姉妹クラブ、友好クラブがないクラブは、地区としてガバナー会がとりまとめをして、台日親善会議を通じて第 3490 地区台湾東部のガバナーに対し義援金をお送りするという事に決まりました。クラブで取りまとめてガバナー事務所に送ることになりますが、義援金をいただく機会が 4/24、5/1、5/8 の例会の 3 回になります。他の寄付金 BOX と重なりますが、敢えて今回 BOX をお返しします。一口 1000 円で、何口入れてもいいのですが、最低 1000 円ということをお願いしたいと思います。ぜひご協力よろしくお願いたします。

#### 幹事報告 藤本 豊大幹事

次週 4 月 17 日の例会は休会です。次の例会は 4 月 24 日で、ブックハウスカフェでクラブ協議会を行います。お間違えの無いようお願いいたします。

#### 副幹事報告 中野 広行副幹事

・ 4 月 16 日 (火) は次年度委員長が出席する地区研修協議会が開催されます。出席の方は 24 日のクラブ協議会で報告して頂きますのでご予約ください。24 日欠席の方は 5 月 1 日の委員会報告での報告になります。  
・ 先日の例会で、次年度会員名簿の校正のお願いを配布しております。ご確認のうえご提出お願いたします。

#### 第 1 回河川清掃とウォーキングクリーンプロジェクトの案内 岡田 邦男社会奉仕委員長

4 月 27 日 (土) 10 時から佐久間橋児童遊園の船着場の前で例年通りの花壇の花植えと河川清掃を行います。当該の船着場のところの公園は、佐久間町一丁目町会

1949 年、昭和 24 年 11 月 8 日生まれです。昔住んでいた家は、今の自社ビルの駐車場のところにあったのですが、そこから歩いて 5 分くらいのところにあった千代田区立今川小学校で育ちました。昭和 37 年に卒業し、千代田区立今川中学校という、神田駅から歩いて 3 分くらいのところの中学校に入学しました。小学校の周りにはほとんど公園がなく、ちょっと歩くと神田川、すぐに隅田川もありますが、周りはコンクリートの学校でした。小学校の裏に都立一ツ橋高校があり、その高校にみんな子供たちが集まって、塀を乗り越えて、校庭に入ってみんな遊んでいました。また、小学校の頃は自転車がよく、当時デパートの屋上はちょっとした公園みたいになっていましたが、三越や高島屋デパートの屋上やおもちゃ売り場とかそういうところにも遊びに行っていました。全然自然がないので夏休みに友達が田舎に行ったという話を聞くと、すごくうらやましかった思い出があります。その頃は、両親が非鉄金属の会社を設立し夫婦と一緒に働いていました。私は男 3 兄弟ですが、男の子というのはなかなか家で大人しくしているということがないので、夏休みに家にいられると仕事に集中できないと言われ、大学生の家庭教師を一人つけられ、奥日光の川治温泉の奥、湯西川温泉の旅館に 1 か月、8 月いっぱい押し込められて、そこで遊んでいました。同い年くらいの旅館の息子たちと一緒に、温泉の前の川に入って泳いだり魚獲ったり遊びに行ったことが思い出です。すごく楽しかったです。区立の今川中学校は、半分くらいは近隣の埼玉県、千葉県、神奈川県などから越境して入学してくる子どもたちがいました。その頃はベビーブームでクラスが A 組～H 組クラスまであり、なかなか同級生の顔を覚えられなかったのですが、その頃も遊んでいました。昭和 40 年の 3 月に中学を卒業し、その 4 月に新宿にあった工学院大学附属高校に入学、昭和 43 年に同じ工学院大学の化学工学課に入学しました。昭和 47 年 3 月に卒業し、昭和 48 年 4 月に、セントラル石油瓦斯に入社し、そこで 3 年くらいいました。昭和 50 年に退社し、大原不動産に入社して現在までいます。今は大原不動産を一応退社し監査役ですけども、大原不動産の子会社の大原興業の社長をやっています。

会社は、昭和 25 年に父が大原金属という会社を設立し、昭和 44 年に大原不動産に社名変更しました。大原金属はもともと非鉄金属で、銅、真鍮、鉄以外の金属を集めてくる人達からその品物を買取り、住友金属等の大手に納品するというのをやっていました。銅とかは、海外の商品相場の価格で値段が決まってしまうので、購入時は安く売却時が高ければいいのですがそうじゃない場合もあります。大手は手形取引が多くそれで父がよく苦労していたので、そういう手形の取

引ではなく、品物を動かさなくていい、そういう商売をしたいと不動産をやるようになりました。不動産の場合は、取引相手は必ずエンドユーザーであり、現金取引です。大手企業と対等に商売ができ、手形取引もありません。非鉄金属をやっていたので倉庫とかいくつもあり、4回建のビルを最初に建てて不動産を始めました。今の会社は、自社ビルの管理が主で、そのほか賃貸、売買の仲介をやっています。自社ビル商業ビルが6棟、倉庫2棟、マンション4棟あり、それを管理しています。売買もやっていて、時々大きい仕事も入りますが、それはめったにありません。

趣味ですが、昔はテニス、スキーをしていました。ヨットも小さいのを少しやっていました。今は釣り、ゴルフ、ヨットです。趣味のヨットは、大学時代にヨット部に入りたいと思い、三浦半島の毘沙門海岸で大学のヨット部が練習をしていると聞いて行ったのですが、当日なぜかうちの学校のヨット部がおらず、やっていないと思いヨット部に入るのを諦めたのですが、その後、私の友人にヨットやっている人がいて、一緒にやりましょう、と30歳ごろに始めました。その頃は2人乗りのヨットで「カタマラン」という船艇が2つの、ハワイなんかに行くときの色がカラフルな虹色みたいな走っているヨットがありますが、それを友達たちとやり始めてそれが結構楽しかったです。ヨット持つとお金がかかると思われますが、特にカタマランというヨットは、砂浜にエントリーして、そのまま置くことができます。友達同士で葉山の隣、長者ヶ崎海岸の砂浜にヨットを置いて、その上に住んでいる人のところに挨拶に行き、庭に自分たちのセイルを置かせてほしいと頼み込んで置かせてもらっていました。そのためほとんど艇置料というのはかからず、セイルを置かせてもらっている家に毎月いくらか皆で払い、ヨットを始めました。ヨットのレースに出たりして皆で楽しんでいましたが、だんだん年ととると、レースに出るといっても寒くて、だいぶ年をとって出来なくなり、もうちょっと大きいヨットを皆でやろうと、横浜ベイサイドマリーナが出来たときに、5人くらいで、ヤマハ25マイルディ、8mちょっとくらいのヨットを買いました。クルーザーと呼ばれるようなヨットを始めたのがそれです。今はアメリカの、セイバーという、40フィートのヨットを7人で持ってやっております。釣りは、暇な時にちょっと釣りをしていたのが癖になり、ヤンマーの30フィートのボートを4人で共同で持ち、釣りに行っています。皆さんも釣りのご興味のあるかたは仰っていただければお教えします。ヨットは機会があったら、皆さん全員はなかなか乗れないですが7、8人でしたら乗れますので、何日かに分けて皆さんに乗っていただくというのも面白いのではないかなと思います。

会社の所在地が千代田区で、千代田区で生まれ育ってきたので、恩返しのためにはないのですが町会長をやらせていただいております。また、周りの8つの町会が1つのブロックになっていて、そのブロックで連合町会を作っているのですが、その連合町会の町会長もやらせていただいております。去年から今年までなのですが、区の出張所に連合町会が3つありまして、3つの連合町会の中の、地区の会長というのもやらせてもらっています。連合町会長の、連合町会長協議会というのがあり、その会長もやっております。そこまであまり考えもせず、とにかく今度は君の番だからと言われて、はい、わかりましたと言ったのですが、それが結構大変で、なった途端に紐づけていろん

な役職が回ってきました。社会福祉協議会の理事だったり、体育協会の理事だったり、東京都の地域課題解決のための検討会に入ったり、結構割り当てで来るのが12個、地元の小学校中学校、それから保育園の役員とか、自分のための仕事ではないのですが、地域のためにそういうことをしなさい、ということでやっております。現状ロータリーの方も行き辛くなっております。

(牛島会長) いつ頃町会長のお役目とれますか

(大原会員) 1番大変な千代田区の協議会は、年1回、去年は札幌まで千代田区の代表で行きましたが、今年は来月の5月で終わりのため、そこまではなくなると思います。町会長は、次の町会長候補の方が脳梗塞になり、次が固まるまで町会長をもうちょっと続けなければいけなくなってしまったというのが現状です。皆さんとは夜は遊びに行けますが、なかなか昼間は難しくなりました。ロータリーに入ってよかったことは、皆さんと知り合いになって、いろんなことを教えていただける機会が増えたということです。今回のイニシエーションスピーチもそうですが、自分を振り返って、昔はこうだったのだな、とか、歴史を振り返るということも大切なことだということも気付かせていただきました。そういうことでは、今日のイニシエーションスピーチも感謝申し上げます。

(木宮会員) 大原さんには船に乗せていただいたり、船舶一級免許持っているので、運転もさせて頂きました。神田税務署管轄で税金納めさせていただいていますが、神田法人会に大原さんのご紹介で入れていただきました。また大原さんから向島へ行ってみよう、と言われてます。皆さんもぜひ銀座だけではなく、こちらにもご参加いただければと思います。

(大原会員) 向島も、以前いらっしゃった会員の方が日本の江戸文化を楽しむ会ということで、新橋の芸者さんの踊りの会とか、そういうのを連れていってくださっていました。石渡さんも向島の芸者さんの会とかやってらっしゃいますし、そういうのを皆さんと行って、昔の芸者さんの遊び、というのを教えてもらってこういうのもあったというのを知るのもいい機会じゃないかと思っておりますし、そういうのも楽しんじやないかなと思います。皆さんとぜひ行きたいと思えます。

#### 今後の予定

- 5/1 (水) (於)東京ドームホテル  
「ボーイスカウトの活動紹介」  
ボーイスカウト千代田第6団 団委員長  
井沢 啓一様
- 5/8 (水) (於)東京ドームホテル  
「脚本家、声優というおしごと」  
脚本家・声優 福緒 唯様
- 5/15 (水) 休会
- 5/22 (水) (於)東京ドームホテル  
「親子はねやすめの報告」  
NPO 法人親子はねやすめ代表理事  
宮地 浩太様
- 5/28 (火) (於)東京ドームホテル  
東京後楽 RC 合同例会  
※5/29 (水) より振替